

2023年
2月
221号



編集発行
連合山形鶴岡田川
地域協議会
鶴岡市泉町 8-57
TEL 0235-25-8605
労働センター内

2023を迎えて



連合鶴岡田川地協
議長 阿部一寛

日頃より鶴岡田川地協の運動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。まず始めに、2022年12月31日未明に鶴岡西目地区で大規模な土砂災害が発生いたしました。被災に遭われた皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げますと共に、亡くなられた2名の方にはご冥福をお祈りいたします。また皆川市長をはじめ、災害対応にあたりました関係者の皆様への感謝と共に被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

2022年は年明け早々「オミクロン株」によって新型コロナウイルス感染症が急拡大し、海外ではロシアのウクライナ侵攻などもあり物価の上昇や急激な円安、世界的に原材料不足やサプライチェーンの混乱が続く、企業活動や家庭を直撃する社会変化が生じてしまいました。このような不確実・不安定な時代に必要なのは変化への対応力だと思います。

今年の干支、「癸卯(みずのと・う)」は、今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年だとされています。田川地協としても、これらの変化に対応しこれまで培ってきた土台をしっかりと固め、勢いよく成長し飛躍できるよう邁進していきたいと思っています。

2023年の重点課題への取り組みとしてまず、「2023春闘」についてです。昨年来、社会全体が賃上げ気質になっていること「コロナ禍、物価高、円安」+「増税」という三重、四重苦で、私たちの仕事や生活面で立ち止まらざるを得ない環境になり「生活不安、雇用不安、将来不安」の3つの不安払拭に向け、田川地協としては継続した「人への投資」が重要であると考えております。私達「働く者の声」を反映させていくために、熱意をもって取り組んでまいります。また賃上げだけでなく、職場の中で多くの課題が寄せられており「新たな働き方」や「人材確保」の部分で議論していかなければと考えております。その際にはどうか皆様方の「声」をお聞かせください。日本の賃金水準は諸外国に比べ見劣りし、取り残されている状況です。ここ30年来のデフレマインドを払拭して実質賃金が継続的に上がっていく仕組みを構築していかなければならないと考えております。これらの基盤になるのは組織や人材の多様性・柔軟性です。変化への対応力をつけ共に成長していきましょう。

二つ目に今の岸田政権は、国民の声を十分に聞くと言いながらも、私たちの生活や安全、安心にかかわる問題、地方に山積する課題がうやむやにされてしまうなど懸念を持っております。私たちの話をしっかりと聞いていく、議会の中でもしっかりと議論をしていく、そういった政治を取り戻すためにも、地方から政治の流れを変えていく、「地域にチカラを！」取り戻していく。その為にも統一地方自治体選挙は重要な戦いであり、各構成組織、各種団体と連携しながら選挙の取り組みを進めて参りたいと思います。一人でも多く「働く仲間の代表」として議員の皆さんを議会に送り出していきたいと考えており、健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進を図るために、国政、県政、市政などの政治に対する醸成を図り、平和で安定した社会の実現を目指します。

今後も組合員の皆様方のご協力とご理解も頂ければと思います。ともに頑張りましょう！

【鶴岡田川地域協議会 2023新春旗開き開催】

1月7日(土) 勤労者会館大ホールにて「2023新春旗開き」を開催しました。3年ぶりで今年は式典のみでの開催でしたが、沢山のご来賓の方々にご臨席いただきました。

先に行われた 第23回 構成組織・単組代表者会議で鶴岡田川地協は、山形県議会議員選挙(予定:3月31日告示、4月9日投開票)に向け、現職の高橋淳氏、今野美奈子氏の推薦を決定したことを、阿部議長の挨拶の中で公表されました。地域の労働者の意見や声を県政に届け、生活環境、労働環境改善に繋げていくためには組合員皆様のご協力とご理解が大切です。一丸となって取り組んでいきましょう!!



会場全体の様子



阿部議長の発声での「頑張ろう三唱」

【第2回幹事会 及び 女性委員会・青年委員会 全体会議開催】

1月12日(木) 勤労者会館大ホールにて、第2回幹事会および女性委員会・青年委員会 全体会議を開催しました。鶴岡田川地協初の試みとして地協役員全体で顔合わせを行いました。

冒頭、鶴岡田川地協にとって一番重要である「人と人の繋がり」を大切に、活動を楽しみながら自由闊達な議論ができる組織を全員で創り上げ、多種多様な組合員のニーズに応えられる活動にしていこうと、阿部議長より挨拶頂いた後、それぞれの委員会に分かれ、活動報告と協議事項に移りました。

コロナ禍ではありますが、活動も徐々に回復してきています。昨年まで中止にしていた各イベント等も今年は開催できるよう、役員全員で協議を重ねていきます。



Instagramのフォロー・
いいねもお願いします。



RENGO TSURUOKA TAGAWA HYO

